

# 病害虫発生予察情報

## 1 2 月月報

平成 25 年 1 月 15 日  
東京都病害虫防除所

### 1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2012 年 12 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	11.7	-1.8	0.6	-2.2	6.2	-1.8	12.0	61	58.5	110
中旬	11.3	-0.7	0.1	-1.3	5.8	-0.7	2.0	13	60.0	103
下旬	8.4	-2.9	-0.2	-0.3	4.3	-1.2	53.5	313	46.5	68
平均	10.4	-1.9	0.1	-1.3	5.4	-1.2				
合計							67.5	129	165.0	92

観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

#### <天候概況>（千代田区大手町）

気 温：上旬はかなり低く、中・下旬は低かった。

降 水 量：上・中旬は平年並、下旬はかなり多かった。

日照時間：上・中旬は平年並、下旬は少なかった。

上旬：前半は上空の気圧の谷や関東の南岸を東進した低気圧の影響で、曇りや雨の日が多くなった。後半は冬型の気圧配置や移動性高気圧に覆われたため、晴れの日が続いた。

中旬：冬型の気圧配置によって晴れの日が多くなった。15日や17日は、日本海や関東の南を進んだ低気圧の影響で雨が降った。

下旬：期間のはじめと終わりは関東の南岸を東進した低気圧の影響で曇りや雨となった。期間の中頃は冬型の気圧配置や移動性高気圧に覆われたため、晴れの日が続いた。25日から28日にかけて気温はかなり低くなり、25日の東京（大手町）の最低気温 0.1 は今冬最低となった。

### 2 作物生育概況

#### (1) 野菜類

果菜類：促成イチゴは低温の影響により、2週間程度収穫が遅れた。

葉根菜類：コマツナ、ハウレンソウは低温により生育が 10 日～14 日程度遅れた。一部の地域では露地のコマツナで寒害が発生した。ブロッコリー、カリフラワーの冬どり栽培では、低温の影響により生育や花蕾の発育が遅れている。キャベツについても同様な状況である。

## 3 病害虫の発生概況

## ( 1 ) 野菜の病害虫

## トマト ( 施設・抑制 )

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

## コマツナ ( 施設 )

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

## ホウレンソウ ( 施設 )

コナダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モモアカアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。

## イチゴ ( 施設 )

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ナミハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## 野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類 ( 施設 )	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 並 >	発生は平年並であった。

## ( 2 ) 花きの病害虫

## シクラメン

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

## 花き共通の病害虫

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

## ( 3 ) 島しょの病害虫

大 島：サヤエンドウでうどんこ病、アシタバでさび病、ガーベラでうどんこ病の発生が多かった。その他、差木地地区のルスカスでサビダニの発生が目立った。

御蔵島：野菜類全般でハスモンヨトウ、ダイコンなどアブラナ科野菜でカブラハバチの被害がやや目立った。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

### 病害虫防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>  
病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法  
などをお知らせしています。

なお、テレフォンサービスは平成 24 年 3 月で終了しました。4 月以降、本サービスの情報については防除所のホームページに「今月の防除のポイント」として掲載しています。